

【三沢市】ごみ焼却施設 落成式

～周辺環境整備課～

令和5年9月20日(水)、青森県三沢市において整備を進めてきたごみ焼却施設が完成し、落成式が行われました。式には、事業主である三沢市の小檜山吉紀市長をはじめ、三沢市議会の堀光雄議長、東北防衛局からは中野裕文局長らが出席し、関係者約40名が新たな施設の完成を祝いました。

本施設は、昭和55年度に建設された既存施設に老朽化に伴う機能低下等が生じていたことを受け、三沢飛行場周辺地域の民生安定を図るため、「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」第8条に基づく民生安定施設設置助成事業として新たに整備したもので、1日最大52トンのごみを焼却できる炉を備えるとともに、焼却廃熱を回収し施設内で活用するなど周辺環境にも配慮した施設となっています。

今後とも、同法に基づき、防衛施設の設置又は運用等による周辺住民の方々や地域社会への影響の緩和に資する各種施策を行い、防衛施設と周辺地域との調和を図るよう努めてまいります。

施設全景



ごみピット



中央制御室



祝辞を述べる中野局長



【事業概要】

- 補助事業者：三沢市長
- 実施年度：平成28年度～令和5年度
- 事業費：約85億17百万円
- 補助額：約42億58百万円
- 事業内容：生活環境影響調査、基本設計、実施設計
建物工事（S造（一部RC造）5F A=5,629㎡〔延床面積〕）
プラント工事（焼却処理能力52t/日〔26t×2炉〕）
附帯設備工事